

「SCORM1.2 規格に準拠した  
製品認定テストスイートの多言語対応  
及び適合性検査等実験」

操作説明書  
( 操作編 )

平成16年3月

特定非営利活動法人 日本イーラーニングコンソシアム

## 目 次

1. 概要 .....	1-1
2. 稼動環境 .....	2-1
2.1 ハードウェア .....	2-1
2.2 ソフトウェア .....	2-1
3. システム構成 .....	3-1
4. 画面・操作 .....	4-1
4.1 画面構成・遷移.....	4-1
4.2 画面・操作の詳細.....	4-2
4.2.1 テストスイートSCO起動画面(マルチバイト対応版) .....	4-2
4.2.2 メタデータ指定画面.....	4-4
4.2.3 メタデータ置換中画面.....	4-6
4.2.4 メタデータログ表示画面.....	4-7
4.2.5 メタデータ置換完了画面.....	4-9
4.2.6 パッケージ指定画面.....	4-10
4.2.7 パッケージ置換中画面.....	4-12
4.2.8 パッケージログ表示画面.....	4-13
4.2.9 パッケージ置換完了画面.....	4-15

## 1. 概要

開発するシステムの概要を以下の通りとする。

想定利用者	SCORM1.2 規格適合性検査実行者
利用局面	開発した SCORM コンテンツの適合性検査
実現機能	ADL テストスイートでマルチバイトを含むコンテンツを試験するためにコンテンツを適合させるための機能を提供する。
入出力データ	SCO メタデータ コンテンツパッケージ

## 2. 稼動環境

### 2.1 ハードウェア

ADL テスト・スイートが動作する環境と同等とする。

CPU : Pentium プラットフォーム

必要ディスク容量 : 8MB 以上 (ADL テスト・スイート) + 変換モジュール分

必要メモリ : 128MB RAM 以上

#### 推奨環境

CPU : PentiumIII プロセッサ 1GHz 以上

必要ディスク容量 : 40MB 以上

必要メモリ : 256MB RAM 以上

### 2.2 ソフトウェア

OS : Windows2000 ( 英語 ) および WindowsXP ( 英語 )

Java : Sun Java™ 2 SDK and Runtime Environment Standard Edition 1.3.1\_02

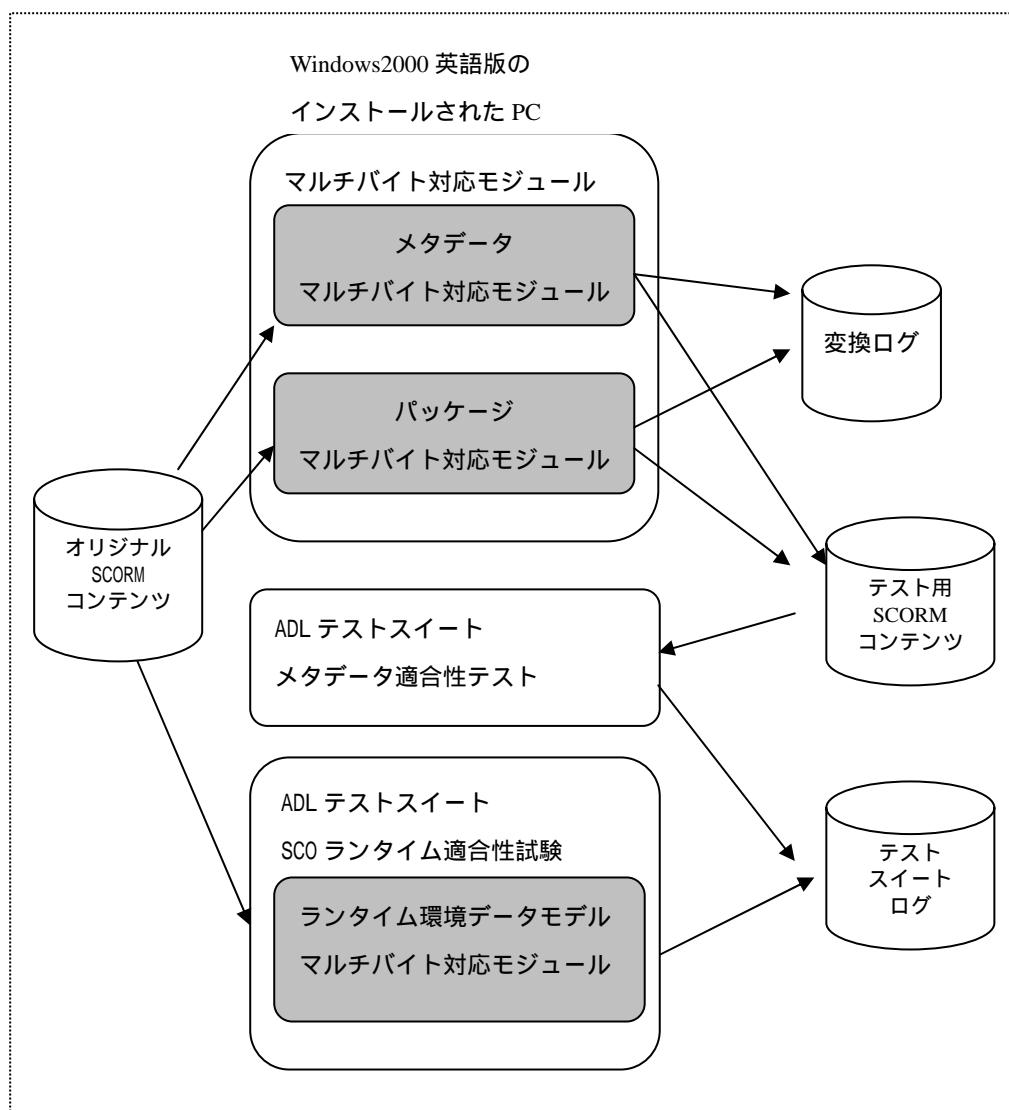
XML パーサとして、Apache Project で公開されている Xerces for Java を使用することを前提とする。

Xerces に関する詳細については、”<http://xml.apache.org/xerces-j/>”を参照。

XPath プロセッサとして、Apache Project で公開されている Xalan-Java を使用することを前提とする。

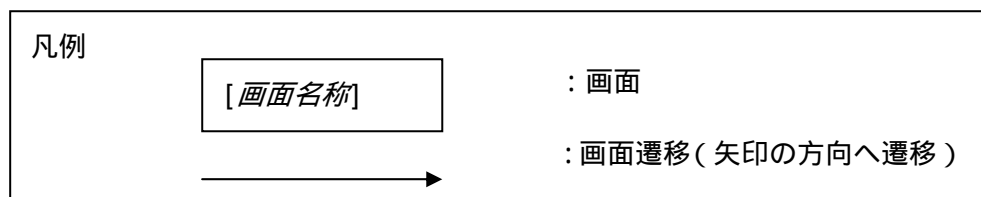
Xalan に関する詳細については、”<http://xml.apache.org/xalan-j/>”を参照。

### 3. システム構成

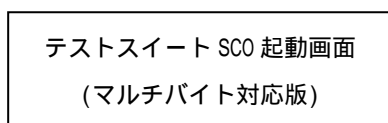


## 4. 画面・操作

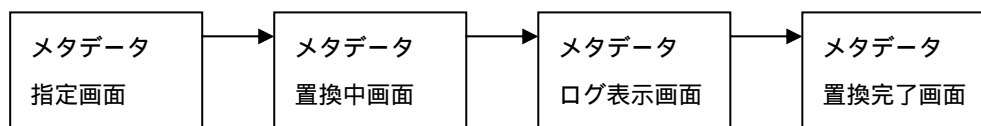
### 4.1 画面構成・遷移



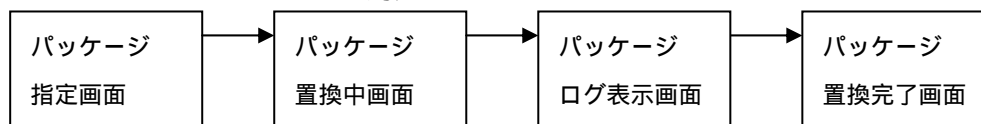
#### ランタイム環境データモデル・マルチバイト対応モジュール



#### メタデータ・マルチバイト対応モジュール



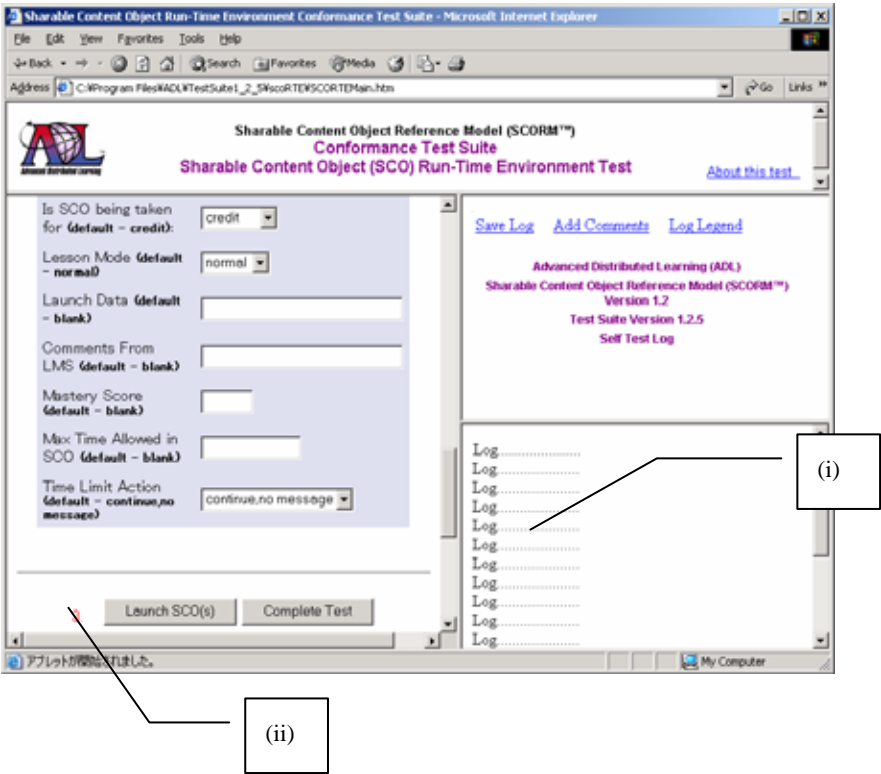
#### コンテンツパッケージ・マルチバイト対応モジュール



4.2 画面・操作の詳細

4.2.1 テストスイート SCO 起動画面(マルチバイト対応版)

4.2.1.1 画面



4.2.1.2 入力

なし

4.2.1.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	マルチバイトログ	ランタイム環境データモデルに対するマルチバイトデータの設定状況のログが出力されます

4.2.1.4 主な操作

No.	概要
(ii)	Launch SCO(s)ボタンを押下して、SCO ランタイムテストを実行してください。

#### 4.2.1.5 メッセージ一覧

分類	意味
INFO	情報
PASSED	正常動作を表すメッセージ
ERROR	異常を表すメッセージ

メッセージ	ERROR: LMSSetValue() failed ERROR: This datamodel is disable to handle multi-byte strings correctly.
情報 / 原因	マルチバイトを使用できないデータモデル要素にマルチバイト文字列が設定されています。 このエラーメッセージが表示された SCO は、マルチバイト対応項目に関して適合していません。

メッセージ	PASSED: This datamodel is able to handle multi-byte strings correctly.
情報 / 原因	マルチバイトを使用可能なデータモデル要素に対して、正しく値が設定されています。

#### 4.2.1.6 制限事項など

セキュリティに関連する制限のため、マルチバイト検証結果のログを保存する機能は提供されていません。

ログを保存する場合は、多言語に対応したアプリケーション(例えばワードパッド)を使用してログを保存するようにして下さい。以下に方法を示します。

ログの表示されているフレーム上で右クリックし、表示されるメニューから[すべて選択(Select All)]を選択し、ログの内容が選択状態になったら、再び右クリックし[コピー(Copy)]を選択します。

多言語に対応したアプリケーション(例えばワードパッド)を起動して、[編集(Edit)]メニューから[貼り付け(Paste)]を選ぶなどして、コピーしたログの内容を貼り付けます。

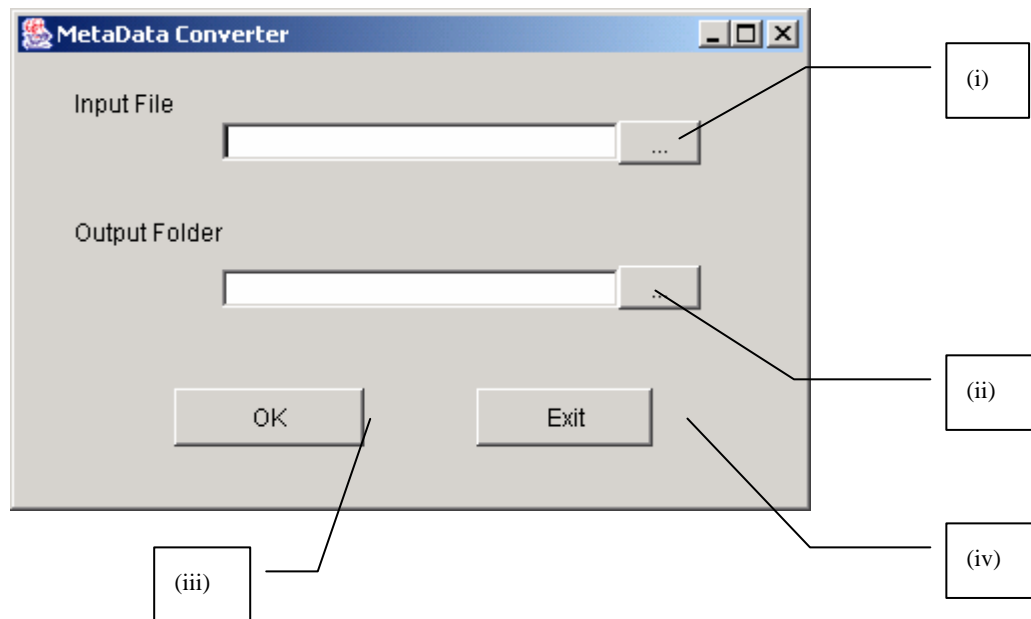
(貼り付けを行なった後、文字が正しく表示されるようにフォントを変更する必要がある場合があります。ワードパッドの場合は、[編集(Edit)]メニューから[すべて選択(Select All)]を選び、全体を選択状態にした後で、ツールバーを使用して各言語に対応したフォントに変更する事で正しくログを表示することができます。)

ログを貼り付けたアプリケーションの保存機能を使用して、ログを保存することができます。



## 4.2.2 メタデータ指定画面

### 4.2.2.1 画面



### 4.2.2.2 入力

No.	データ名	概要
(i)	メタデータ	ADL テストスイートにおけるメタデータ 適合性テストの対象となるメタデータ
(ii)	出力先	マルチバイト文字列を置換後のメタデータ の出力先フォルダ

### 4.2.2.3 出力

No.	データ名	概要
(ii)	置換後メタデータ	マルチバイト文字列を置換後のメタデータ

#### 4.2.2.4 主な操作

No.	概要
(i)	[Input File]ボックスに検証を行うメタデータファイル名を入力します。 [...]を使用して、ファイルを選択することもできます。
(ii)	[Output Folder]ボックスに、変換後のファイルを出力するフォルダ名を入力します。 [...]を使用して、フォルダを選択することもできます。
(iii)	[Input File]ボックスおよび[Output Folder]ボックスを入力してから、[OK]ボタンをクリックすると変換処理が開始されます。
(iv)	メタデータコンバータを終了するには[Exit]ボタンをクリックします。

#### 4.2.2.5 メッセージ一覧

以下に、メタデータコンバータで表示されるエラーおよび対処方法を示します。

メッセージ	You should fill up the following items:
情報 / 原因	メッセージに示された入力項目が指定されていません。 指定してください。

メッセージ	[ Input File ] does not exist or it is not a valid file.
情報 / 原因	[Input File] ボックスに指定されているパスが存在しないかファイルではありません。 ファイルが存在するか確認してください。

メッセージ	[ Output Folder ] does not exist or it is not a valid path.
情報 / 原因	[Output Folder] ボックスに指定されているパスが存在しないかフォルダではありません。 フォルダが存在するか確認してください。

メッセージ	InputFile filepath and OutputFile filepath should be changed.
情報 / 原因	[Input File] ボックスに指定されたパスと、[Output Folder] ボックスに指定されているパスが同一です。 異なったパスを指定してください。

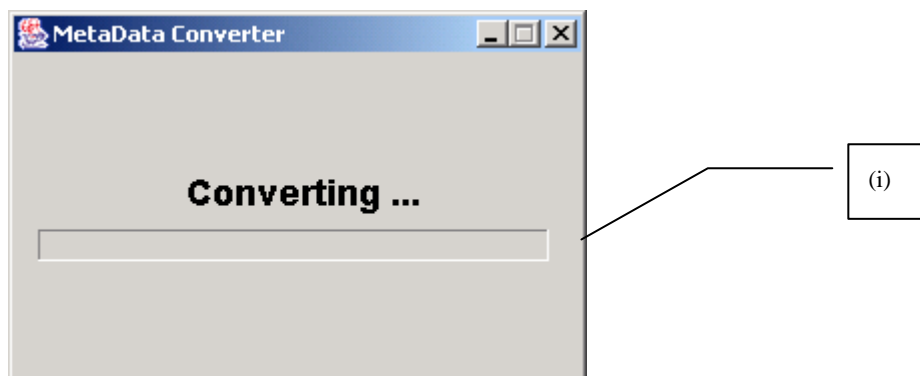
#### 4.2.2.6 制限事項など

置換後のメタデータを検証する ADL テストスイートは英語 OS 上で動作するものとする。(日本語 OS 上では ADL テストスイートが正しく動作しないため)

また、英語 OS 上で「メタデータ マルチバイト除去・チェックモジュール」を動作させる場合は、メタデータのファイル名にマルチバイト文字が含まれていないこと。

### 4.2.3 メタデータ置換中画面

#### 4.2.3.1 画面



#### 4.2.3.2 入力

なし

#### 4.2.3.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	変換状況	メタデータの変換状況がグラフで表示される

#### 4.2.3.4 主な操作

なし

#### 4.2.3.5 メッセージ一覧

なし

#### 4.2.3.6 制限事項など

なし

#### 4.2.4.1 画面



## なし

#### 4.2.4.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	ログ表示	マルチバイト置換結果のログを表示する。

#### 4.2.4.4 主な操作

No.	概要
(i)	変換処理が終了すると、自動的にブラウザが起動し、変換結果のログが画面に表示されます。

#### 4.2.4.5 メッセージ一覧

以下に、ログに表示されるメッセージについて示します。

分類	意味
INFO	情報
PASSED	正常動作を表すメッセージ
WARNING	警告を表すメッセージ
ERROR	異常を表すメッセージ

メッセージ	WARNING: Multi-byte string should not exist in element '##element'.
情報 / 原因	'##element'要素にはマルチバイトの値は使用できません。

メッセージ	WARNING: Multi-byte string should not exist in attribute ##attribute of element '##element'.
情報 / 原因	'##element'要素の'##attribute'属性にはマルチバイトの値は使用できません。

メッセージ	ERROR: Syntax error in XML file.
情報 / 原因	メタファイルの形式が正しくありません。 ファイルの内容を確認してください。

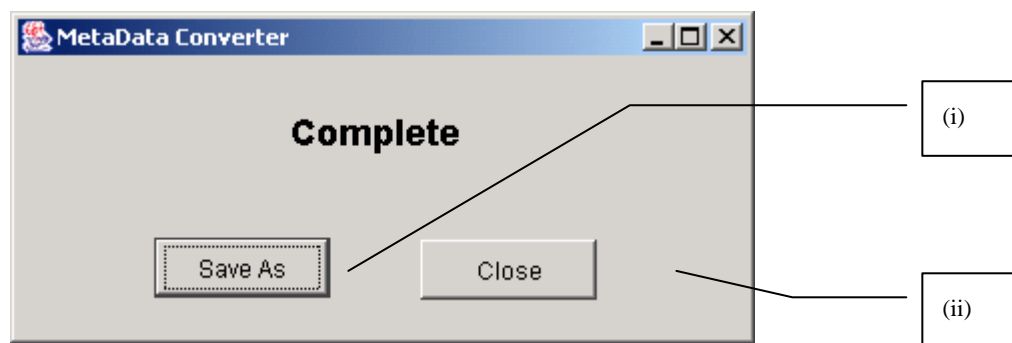
メッセージ	ERROR: Validation failed.
情報 / 原因	ファイルが変換できませんでした。 ログに表示されているエラーの原因を修正してください。

#### 4.2.4.6 制限事項など

なし

#### 4.2.5 メタデータ置換完了画面

##### 4.2.5.1 画面



##### 4.2.5.2 入力

なし

##### 4.2.5.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	置換ログ	マルチバイト置換結果のログをファイルに保存する

##### 4.2.5.4 主な操作

No.	概要
(i)	メタデータコンバータの[Save As] ボタンをクリックして、ログを保存することができます。
(ii)	変換完了ウィンドウを閉じるには[Close]ボタンをクリックします。

##### 4.2.5.5 メッセージ一覧

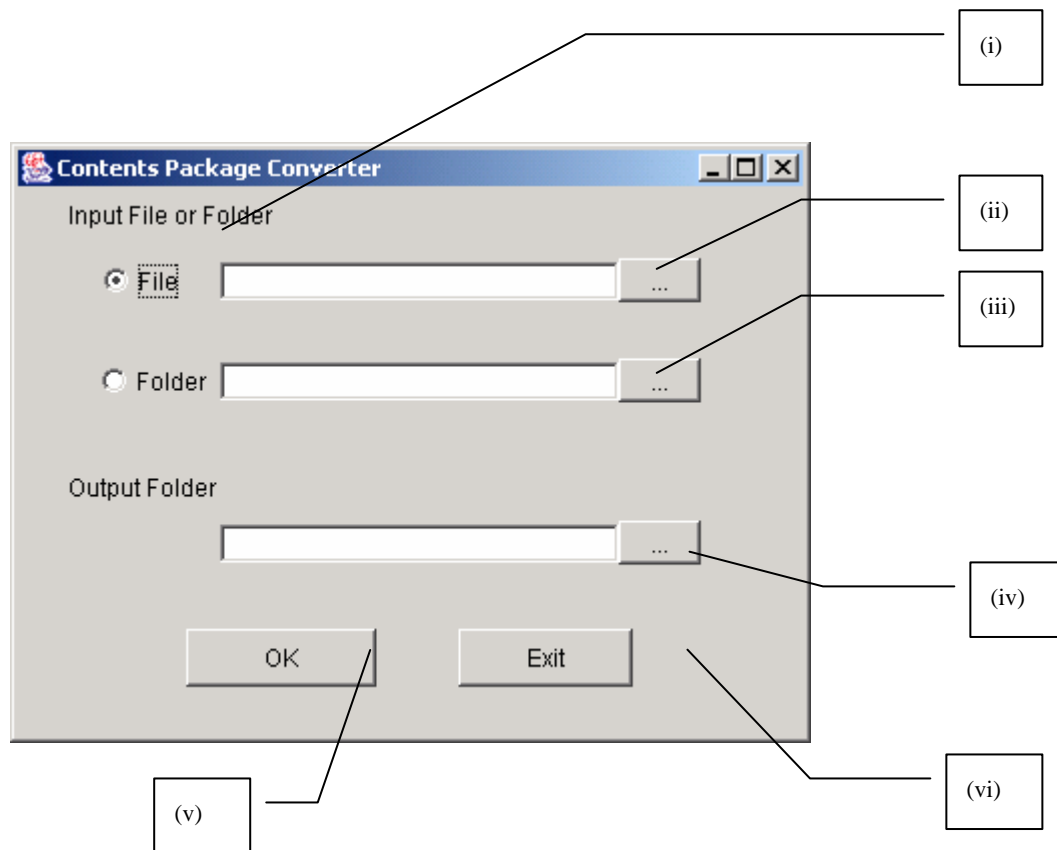
なし

##### 4.2.5.6 制限事項など

なし

## 4.2.6 パッケージ指定画面

### 4.2.6.1 画面



### 4.2.6.2 入力

No.	データ名	概要
(i)	対象	変換対象がファイルかフォルダかを選択する
(ii)	対象ファイル	ADL テストスイートにおけるコンテンツパッケージ適合性テストの対象となるコンテンツパッケージ(PIF)ファイル。ZIP 形式のファイルを指定できる
(iii)	対象フォルダ	ADL テストスイートにおけるコンテンツパッケージ適合性テストの対象となるフォルダ
(iv)	出力先	マルチバイト文字列を置換後のパッケージの出力先フォルダ

#### 4.2.6.3 出力

No.	データ名	概要
(iv)	置換後コンテンツパッケージ	マルチバイト文字列を置換後のコンテンツパッケージ

#### 4.2.6.4 主な操作

No.	概要
(i)	[Input File or Folder]項目で、[File]もしくは[Folder]オプションのどちらかを選択します。
(ii)	[File]を選択した場合は、テキストボックスに検証する PIF ファイル名を入力します。PIF ファイルは ZIP フォーマットで圧縮されたものを使用できます。 [...]を使用して、ファイルを選択することもできます。
(iii)	[Folder]を選択した場合は、テキストボックスに検証するコンテンツ・パッケージのフォルダ名を指定します。 [...]を使用して、フォルダを選択することもできます。
(iv)	[Output Folder]ボックスに、変換後のファイルを出力するフォルダ名を入力します。 [...]を使用して、フォルダを選択することもできます。
(v)	[Input File or Folder]および[Output Folder]ボックスを入力してから、[OK]ボタンをクリックすると変換処理が開始されます。
(vi)	コンテンツ・パッケージコンバータを終了するには[Exit]ボタンをクリックします。

#### 4.2.6.5 メッセージ一覧

以下に、コンテンツ・パッケージコンバータで表示されるエラーおよび対処方法を示します。

メッセージ	You should fill up the following items:
情報 / 原因	メッセージに示された入力項目が指定されていません。 指定してください。

メッセージ	[ InputFile ] does not exist or it is not a valid file.
情報 / 原因	[InputFile]ボックスに指定されているパスが存在しないかファイルではありません。 ファイルが存在するか確認してください。

メッセージ	[ InputFolder ] does not exist or it is not a valid path.
情報 / 原因	[InputFolder]ボックスに指定されているパスが存在しないかフォルダではありません。 フォルダが存在するか確認してください。



メッセージ	[ OutputFolder ] does not exist or it is not a valid path.
情報 / 原因	[OutputFolder]ボックスに指定されているパスが存在しないかフォルダではありません。 存在するフォルダを指定してください。

メッセージ	InputFile filepath and OutputFile filepath should be changed.
情報 / 原因	[Input File] 、 [ InputFolder ]ボックスに指定されたパスと、 [Output Folder] ボックスに指定されているパスが同一です。 異なったパスを指定してください。

#### 4.2.6.6 制限事項など

置換後のコンテンツパッケージを検証する ADL テストスイートは英語 OS 上で動作するものとする。(日本語 OS 上では ADL テストスイートが正しく動作しないため)

また、英語 OS 上で「コンテンツパッケージ除去・チェックモジュール」を動作させる場合は、コンテンツパッケージのファイル名にマルチバイト文字が含まれていないこと。

#### 4.2.7 パッケージ置換中画面

##### 4.2.7.1 画面



##### 4.2.7.2 入力

なし

##### 4.2.7.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	変換状況	パッケージの変換状況がグラフで表示される

##### 4.2.7.4 主な操作

なし

##### 4.2.7.5 4.2.7.5. メッセージ一覧

なし

4.2.7.6 制限事項など

なし

4.2.8 パッケージログ表示画面

4.2.8.1 画面



4.2.8.2 入力

なし

4.2.8.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	ログ表示	マルチバイト置換結果のログを表示する。

4.2.8.4 主な操作

No.	概要
(i)	変換処理が終了すると、自動的にブラウザが起動し、変換結果のログが画面に表示されます。

#### 4.2.8.5 メッセージ一覧

以下に、ログに表示されるメッセージについて示します。

分類	意味
INFO	情報
PASSED	正常動作を表すメッセージ
WARNING	警告を表すメッセージ
ERROR	異常を表すメッセージ

メッセージ	WARNING: Multi-byte string should not exist in element '##element'.
情報 / 原因	'##element'要素にはマルチバイトの値は使用できません。

メッセージ	WARNING: Multi-byte string should not exist in attribute ##attribute of element '##element'.
情報 / 原因	'##element'要素の'##attribute'属性にはマルチバイトの値は使用できません。

メッセージ	ERROR: Syntax error in XML file.
情報 / 原因	メタファイルの形式が正しくありません。 ファイルの内容を確認してください。

メッセージ	ERROR: Validation failed.
情報 / 原因	ファイルが変換できませんでした。 ログに表示されているエラーの原因を修正してください。

メッセージ	ERROR: Input file is not a valid zip format.
情報 / 原因	[InputFile]ボックスに指定されたファイルが zip 形式ではありません。 zip 形式のファイルを指定してください。

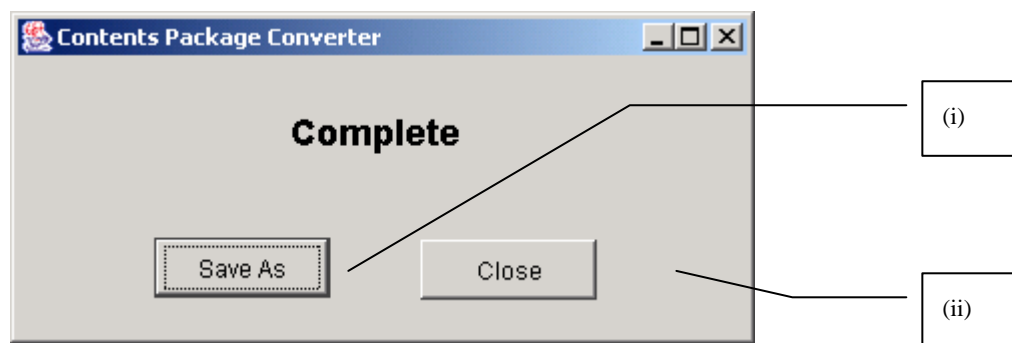
メッセージ	ERROR: XML file does not exist.
情報 / 原因	メタデータ、またはマニフェストファイルが存在しません。 ファイルが存在するか確認してください。

#### 4.2.8.6 制限事項など

なし

#### 4.2.9 パッケージ置換完了画面

##### 4.2.9.1 画面



##### 4.2.9.2 入力

なし

##### 4.2.9.3 出力

No.	データ名	概要
(i)	置換ログ	マルチバイト置換結果のログをファイルに保存する

##### 4.2.9.4 主な操作

No.	概要
(i)	ログを保存するには、コンバータの完了画面の[Save As]をクリックして、保存する場所およびファイル名を指定します。
(ii)	変換完了ウィンドウを閉じるには[Close]ボタンをクリックします。

##### 4.2.9.5 メッセージ一覧

なし

##### 4.2.9.6 制限事項など

なし